

訓練コース（2 期生）募集要項

— 2019 年度版 —

1. はじめに

この訓練コースはサポチルが開設した精神分析的心理療法のための研修プログラムの自主性・自発性という理念は維持しながらも、確かな専門性を実感するために体系的な訓練内容を整備したものです。公認心理師という新たな潮流の中で、私たちは自身の専門性に対するアイデンティティが揺らぐ危機に直面しているといえます。訓練コースはこれまで以上のサポートを整え、知識や技量の着実な定着と高い専門性に対する自負が得られていくように集中的な訓練を提供するものです。精神分析的な実践のみを目指すのではなく、各々の現場に即した実践を考えて行える自立した専門家を目指すものとなっています。

昨年度に募集した 1 期生は、観察と臨床基礎コースが 4 名、セラピスト養成コースが 6 名の方がエントリーを受諾されて、現在も集中的な訓練を受けています。この度は 2019 年 4 月から訓練が開始される 2 期生の募集を行います。以下にコースの紹介をしておりますので、ぜひご検討ください。

2. コースの特色

1. より凝集性の強い研修内容

（定められた期間で知識や経験の確実な定着を目指す）

2. 指導者による手厚いサポート

（来るもの拒まず、去る者追わずではなく、責任をもってサポートする）

3. ピアグループを通じた相互サポートの強化

（同期とも同僚とも違う、同志による支え合いの場の提供）

4. 初のゼミ形式の基礎セミナー

（講師のペースではなく、受講生の理解度に合わせて必要な内容を学ぶ）

5. 年に 3 回の個別チュートリアル

（担当チューターと臨床・訓練上の悩みを相談する機会がある）

6. セラピスト養成コースでは訓練生に臨床実践の機会の提供

（定期的な心理療法の現場がない方でも安心）

3. 今年度からの新たな特典

セラピスト養成コースをさらに参加しやすいものに変更しました

① 2 年目以降の受講料を 25 万円から 20 万円に減額

② 個人 SV の優先的なマネジメントとサポチル指定 SV についてはスーパーバイズ料金を大幅な減額(毎週 SV を定価の 2000 円引きで最大 40 回まで、年間 8 万円引き)

※本気でやりたい方に応えられる体制を関係者の協力により実現しました※

4. コースの紹介

A：観察と臨床基礎コース

コース責任者：竹山陽子

乳児観察を中心に、(子どもの)精神分析臨床に必要な基礎的なスキルと知識を学ぶ。セラピスト養成コースに進みたい人の基礎訓練コースであり、まずはこのコースをご受講ください。

子どもの心理療法実践に携わらなくても、SC, 医療機関, 福祉施設などでそれぞれの臨床実践に精神分析の基礎的スキルや知識を生かしたい人向けのコース。

最短で2年で修了(当面は修了要件さえ満たせば短くすることも可)。

	セミナー	乳児観察	ワークディスカッション
1年目	基礎セミナー I (2/m) +文献講読 I (1/m)+文献講読Ⅲ(1/m)	週1回の乳児観察セミナーを受講し、自身が2年間の乳児観察を行う。 ・御池は月曜 19時半～ ・梅田は土曜 10時半～ ・御池で土曜 11時～のセミナーが新設！！	職場などの集団状況の観察を行い、基礎セミナーにてワークディスカッションを行う。
2年目	基礎セミナー I (2/m) +文献講読 I (1/m)+文献講読Ⅲ(1/m)		
それ以降	文献講読 I (1/m)+文献講読Ⅲ(1/m) 基礎セミナー2年修了者は受講料を減額する		

B：セラピスト養成コース

コース責任者：平井正三

「観察コース」を修了した人で、「子どもの精神分析的心理療法士」として独り立ちできる力を培うためのコース(乳児観察修了者は本コースから開始可)。

本コース生は、訓練生として、サポチルの心理療法委託機関に所属し、アセスメントを含めた子どもの精神分析的な心理療法実践の機会を得る(外部ケースも条件次第で訓練ケースにできる)。所属機関のアセスメントカンファレンス(月1回)に参加し、アセスメントの実際も学ぶ。

最短で3年で修了(当面は修了要件さえ満たせば短くすることも可)。

	コアセミナー	SV	個人分析	自由選択
1年目	GSV(1/m), 基礎セミナー(1/m)+アセスメントセミナー(1/m)	3例の訓練ケースについて、週1回もしくは隔週のSVを2名(各1年以上)以上のSVから受けること(少なくとも1年は毎週)	訓練中は週1回以上の個人セラピーもしくは分析を受ける。 サポチル認定の「子どもの精神分析的な心理療法SV」も目指す人は週2以上	文献講読 I (4年未修の人は受講) 文献講読Ⅲ(最低1年未修の人は受講) 親面接セミナー(1/m) 思春期セミナー(1/m) の2種については、最低1年は受講すること
2年目	GSV(2/m) 文献セミナー(1/m クライン派の基礎、ビオン、ウィニコット、タスティン、メルツァー)			
3年目	GSV(2/m) 文献セミナー(1/m 現代クライン派 アルヴァレスなど)			
それ以降	GSV(2/m) GSV以外のコアセミナー修了者は受講料を減額する			

5. 申請資格と必要書類の記入要項

	観察と臨床基礎コース	セラピスト養成コース
申請資格	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人子どもの心理療法支援会の正会員（専門会員もしくはボランティア会員）であること（2018年12月第3土曜日に行われる理事会までに承認された会員） ・乳児観察や精神分析の基礎を自分の今後の臨床に生かしたいという熱意があること 	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人子どもの心理療法支援会の専門会員であること（2018年12月第3土曜日に行われる理事会までに承認された会員） ・自身が2年間乳児観察を行い、資格審査委員が認める乳児観察セミナーを受講済み ・「子どもの精神分析的心理療法士」として立ち立できることを希望する ・週1回以上の個人セラピーを受けている、もしくは申し込み中である。
必要書類の記入要項	<p>① 観察コース生申請書【様式1】 職歴は欄が足りない場合は、<u>主なもの</u>をご記入ください。現在の職場の所属長もしくはスーパーバイザーなど2名に推薦人として署名をもらってください。</p> <p>② 訓練経過報告書【様式2】 これまでご自身が受けてきた研修についてご記入ください。スーパービジョン体験の「主なケースの特徴」の欄は、ケースの年齢・性別・構造・病態などを簡単にご記入ください。 「文献講読やセミナー」の欄は、当法人の研修プログラムである場合は主催者の欄にご記入いただく必要はありません。</p> <p>③ 志望動機【様式3】</p>	<p>① 訓練生申請書【様式1】 職歴は欄が足りない場合は、追加して、<u>すべての職歴</u>についてご記入ください。</p> <p>② 訓練経過報告書【様式2】 これまでご自身が受けてきた研修についてご記入ください。スーパービジョン体験の「主なケースの特徴」の欄は、ケースの年齢・性別・構造・病態などを簡単にご記入ください。 「文献講読やセミナー」の欄は、当法人の研修プログラムである場合は主催者の欄にご記入いただく必要はありません。</p> <p>③ 志望動機【様式3】</p> <p>④ 乳児観察に関するエッセイ【書式自由】 自身が行った乳児観察について2年の経過をまとめ、考察をつけたエッセイをご提出ください。乳児観察の経過がまとめられているなら、学会誌等に掲載された論文でも構いません。</p>

提出書類については、記載漏れのないように、黒ボールペン、またはワープロ等により、楷書ではっきりと書いて下さい。また、自筆による署名と捺印が必要な箇所がありますので、ご注意ください。

6. 修了要件

観察と臨床基礎コース	セラピスト養成コース
①2年間の乳児観察修了とエッセイ	①アセスメントケース（子ども担当2ケース以上、親担当1ケース以上の3ケースをそれぞれ5000字程度にて報告する）
②文献講読Ⅰ・文献講読Ⅲのエッセイの提出し修了証を得ること（それぞれ2年以上）	②週1回の精神分析的心理療法を3ケース以上 それぞれ週1回（少なくとも1年）もしくは隔週のSVを受け、1年以上継続。2名以上から受けること
③職場での観察とワークディスカッションによるエッセイ	③SVを受けたケースの学会発表 精神分析学会の研修症例発表か、それに準ずると認められる審査付きの発表
	④SVを受けたケースの論文発表 精神分析学会の研修症例論文か、それに準ずると認められる査読付き論文
	⑤未発表の訓練ケースは1万字程度のレポート
	⑥文献講読Ⅰ（フロイト・クライン・ビオン・現代クライン）4年分と文献講読Ⅲ（少なくとも1年以上）のエッセイの提出し修了証を得ること

7. コース料金とメリット

観察と臨床基礎コース	セラピスト養成コース
コース受講料（10万円）	コース受講料（初年度25万円／2年目以降20万円）
通常は、22万円（特待生18万円）相当のものが、10万円で受講できます。	通常は、1年目26万円、2年目32万円相当（文献講読の未受講者はさらにお得）が受講できます。
文献講読Ⅰ（会員5万円／特待生3万円） ＋文献講読Ⅲ（会員5万円／特待生3万円）＋基礎セミナー（月2回、年10万円相当）＋チュートリアル3回（2万円相当）	基礎セミナー（5名以下でSVによるセミナーのため年8万円相当）＋チュートリアル3回（2万円相当） ＋アセスメントセミナー（5万円相当）＋思春期セミナー（5万円相当）＋親面接セミナー（5万円相当） ＋GSV（1年目月1回：6万円相当、2年目月2回：12万円相当） 未受講者は、文献講読Ⅰ（会員5万円／特待生3万円）＋文献講読Ⅲ（会員5万円／特待生3万円）
毎月の乳児観察セミナー料金はコース受講料は含まない（月2万円程度）。	個人SV・個人セラピーの料金はコース受講料に含まない（各バイザー、セラピストによって異なります）。 所属機関での訓練ケースから報酬を得ることができます。

8. よくある質問

Q1. これまでの研修プログラムは自由に受講できなくなるのか？プログラムは少なくなっていく一方なのか？

A. これまでの自分のペースで関心のあるものを受講できる研修プログラムの利点は変わることはありません。今年は若干少なくなった印象があるかもしれませんが、今後もさらなるプログラムの充実を目指します。

Q2. 「観察と臨床基礎コース」は観察する赤ちゃん家庭が見つかってからじゃないと参加できないのか？

A. ご参加いただけます。逆に乳児観察セミナーを受講される前に赤ちゃん家庭を見つけることはお控えください。臨床上でもアセスメントのプロセスが大事なように、赤ちゃんを見つけ、交渉し、乳児観察をするのに適した家庭であることを判断していくプロセスをセミナーの助けを借りて行う必要があります。観察が途中で立ちいかなくなってしまうことを避けるためにも先に乳児観察セミナーをご受講ください。2018年10月現在、御池も梅田もウェイトニングが出ています。いまウェイトニングをされている方以降は、コースに入られる方がウェイトニングリストにおいて優先されることとなりますのでご了承ください。

Q3. 自分が個人セラピーを受けている分析家のセミナーが取得しにくいですが、どうすればいいか？

A. セラピスト養成コースにおいては、個人セラピーを受けることが必須となっています(コース修了まで受け続ける)。しかし、現在セラピーを提供できる人が限られており、セミナー講師と重なることがかなりあると思います。その場合は基本的には個人セラピーが優先されます。受講できないセミナーについては、自身のチューターと相談していただき、代替となる内容を得られるように工夫を考えていきます(やむを得ず受講できない場合は年間受講料から1セミナー当たり3万円を減額します)。

Q4. 遠方でも委託心理療法機関(御池もしくは京橋)に所属しなければならないのか？アセスメントカンファレンスへの出席は不可欠なのか？

A. 遠方の場合でも、なるべくどちらかの機関に所属していただくことをお勧めします。ただ、特に初期には調整が難しい場合もあるかと思しますので、お勤めの機関が精神分析的な心理療法を行うのに適していると判断された場合は、その機関でのケースを訓練ケースとして認めます。各機関のアセスメントカンファレンスも参加を推奨しますが、やむをえない事情の場合は配慮いたします。いずれにせよ、コースに入る際にはコース責任者との面接で、その後はチューターとの相談にて、個別な事情についてはご相談ください。

Q5. セラピスト養成コースは、サポチル認定の「子どもの精神分析的な心理療法士」の要件より厳しいのはなぜか？資格取得がゴールではないのか？

A. セラピスト養成コースの目標は、セラピストとしての独立と指導者となりうるだけの専門性への自信を身に着けることです。そのため資格要件よりも厳しくなっています。そのためコースの途中で「子どもの精神分析的な心理療法士」の資格を取得する方も出てくるとは思いますが、それでコースを辞める必要はありません。また、コースの中でサポチルの認定の「子どもの精神分析的な心理療法スーパーバイザー(コンサルタントセラピスト)」資格が取得しやすくなるようサポートしていきます。

もちろん「子どもの精神分析的な心理療法士」はコースに入らなくても取得可能です。

9. 土曜日のスケジュール

		10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時
第1	梅田		乳児観察s										
	御池			乳児観察s							文献講読 I		
	森ノ宮					基礎セミナー		基礎セミナー					
第2	梅田		乳児観察s								アセスメントs		
	御池			乳児観察s					文献講読Ⅲ				
	京橋							親面接s					
	難波										思春期セミナー		
第3	梅田		乳児観察s								GSV		
	御池			乳児観察s									
	森ノ宮					基礎セミナー							
第4	梅田		乳児観察s										
	御池			乳児観察s									
	難波										文献講読 I		

観察と臨床基礎コースは緑，セラピスト養成コースは黄色。

乳児観察セミナーは，土曜日の御池か梅田以外にも御池の月曜 19 時半～21 時（平井先生）もご選択いただけます。文献講読 I は御池か難波で選択可。

セラピスト養成コースは，アセスメントセミナー（1 年目を推奨）は必須であり，親面接セミナー，思春期セミナーは選択必修で，終了までに少なくとも 1 年ずつは受講することが求められます。

10. 申請書類提出先，問い合わせ先

2018年12月31日（月） 申請書類締め切り（持参もしくは郵送）

申請書が問題なく受理されたら，コース委員による面接と環境調整の相談が始まります。
2019年1月下旬頃までに受理会議にて可否の決定（セラピスト養成コースは所属先も決定）し、2019年4月～観察コース生，訓練生としての生活が始まります。

本コースは、参加者のグループによるメンバーシップを重視しているため、各コースの参加者が3名に満たなかった場合は開講を見合わせます。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

認定 NPO 法人子どもの心理療法支援会 事務局

〒604-8187 京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町 444 初音館 302

Fax : 075-600-3238 E-mail : info@sacp.jp HP : <http://sacp.jp/>